

第2回ワークショップ各グループ意見概要（コンセプト・内外装のイメージ）

ワークショップでいただいた意見概要		連想されるイメージ
コンセプト	内外装の設え	
・「根・幹・枝・葉と花」1本の木のイメージ ・木のイメージ。1階が「昔」、2階が「現在」、3階が「未来」で繋げ、1階で「養分を蓄え」、2階で「花咲かせ」、3階で「実がなる」イメージ。 ・「水・森・光」外観は木とかガラスで水を表現するといった自然をテーマにした建物。1階「文を読む場。図書館」、2階「交流の場。多目的室」、3階「精神修業の場。弓道場」。地階「地下 エネルギー活動の場。音楽・武道 普段できないもの」 ・多摩の山の材を使用し、ウッディなイメージ。	・落ち着いた木材のイメージ ・木のイメージが良い。 ・床はフローリング、壁は珪藻土仕上げなどの自然素材をイメージ。 ・ほっとする場所として、自然素材や暖色系の色調をイメージ。 ・自然の素材や緑で構成するとより馴染みやすい。	木や花などの自然
・「人と人」をつないでいく場所 ・1階「出会い（交流スペース）」、2階「集い（みんなとグループで学ぶ）」、3階「スカイ（開放的に、無限の可能性を持つ）」 ・「人にやさしいまち恋ヶ窪」、「緑豊かな恋ヶ窪」子どもたちから高齢者までみんなが集う場所にしたい。 ・「境界のない施設」をテーマとし、1階「街との境界がない」、2階「人との境界がない」、3階「空と緑に境界がない」、地下は「制約の境界がない」 ・「自然の温かみ、人の温かみ、木の温かみ」。1階「ふらっとゆったり、憩いの場」、2階「きっちり、かっちり、集中の場」、3階「わいわい、どきどき、わくわく、交流の場」	・暖かい、ホッとするイメージ。色も暖かいトーンが良い。 ・部屋はデザイン性を重視した丸い感じではなく四角い方が良い。 ・1階部分の床面の仕上げを内外で統一感を持たせることで、街と建物の境界をあいまいにし、立ち寄り易い空間を演出する。 ・入りにくくならないように、中身が見えるようにガラス張りであると良い。 ・1階では暖色の照明で明るいイメージが良い。 ・全体が明るくて、照明の温かみがある空間が良い。	人や街などとのつながり
・「自然と和と伝統」 ・「つながり」をテーマとし、1階「外・社会・地域・あるいは不特定多数とのつながり」、2階は「現状のつながりを継続する」、3階「自然・伝統とのつながり」、地下「己の経験とのつながり」。	・直線的な格子などで、和のイメージ。 ・壁は柔らかい素材が良い。	和や伝統
・「100年続くふるさと」がコンセプト。故郷といわれるような場所、各世代が集える場所にしたい。 ・新旧の融合の場所になる、変化となる場所、フレーズ『チェンジ』『チャンス』『クリエイト』『チャレンジ』。 ・フリースペースのFSから、ファンタジー、フューチャー、フラワー、シャイン、サプライズ、スーパー、サクセス、サティスファイ、ファンクション、サプライなどをイメージ。 ・各階のイメージを4つの花で例える。1階は「さくら」（あらたなはじまり）、2階は「ダリア」（あらたな可能性）、屋上階は「あじさい」（未来への希望）、地階は「アスター」（新しいチャンス）。	・暖房効率に配慮したガラス張り	親しみや変化・挑戦